裾野市内の小中学生と保護者の方へ

令和３年７月
裾野市教育委員会

クローム ブック
Chromebook
持ち帰り学習の手引き（もちかえりがくしゅうのてびき）

学びあい、高めあいながら、人間性豊かに未来を目指す人づくり

すその GIGA スクール構想

クラウド

学びの蓄積

双方向の学び

生きる力・主体的に学ぶ力

裾野市教育振興基本計画

つながる力

子どもたち自身が様々な情報にアクセスし、主体的に情報を選択することができる。

Chromebook を通してさまざまな人とつながり、学ぶ中で、自分自身の在り方や生き方について考える。

仲間と一緒に文章やプレゼンテーションを作成し（授業支援ソフト）、考えを共有しながら学び合える。

一人一人の学習状況に応じた個別学習（ドリルコンテンツ利用）ができる。

クラウドを利用することで、既習事項の確認や他者とつながり、学習活動が一層充実し、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善ができる。

教員は一人一人の考えを自分の Chromebook（授業支援ソフト）で把握し、適切な支援ができる。一斉学習の場面でも双方向の授業が可能になる。

端末の持ち帰りで広がる学び

◇授業の復習　◇自分にあったペースで学習する
◇知りたいことをもっと調べる　◇自分なりにまとめる　◇発表の準備

＊７月中に「電波状況確認」のため、一度家庭に持ち帰ります。
＊必要な確認と準備が済みしだい、少しずつ持ち帰りを行う予定です。（時期は未定）

Chromebook　持ち帰りにあたって

持ち帰りのルール(いつもやること)として子どもたちが覚えようとしていること

□ 1．学校または先生の指示があったときに持ち帰る。

□ 2．ランドセルの中の教科書やノートの間に入れて持ち帰る。

□ 3．家に着いたらランドセルからとり出し、安全な場所に置く。

□ 4．家の人と「GIGA連絡掲示板」の内容を確認する。

□ 5．必要な学習のみを行い、学習以外には使わない。

□ 6．学習が終わったら、バッグに入れてランドセルにしまう。

□ 7．学校に持ってきたら、保管庫の＿＿番にしまう。

今回(7/10･11)やること

▶Classroomで、Googleフォーム「もちかえりアンケート」をやる。
家の人といっしょにやりましょう。「睡眠時間」「メディア使用時間」についてのアンケートもあります。

保護者の皆様にご理解いただきたいこと

これからの世界を生きる子供たちは、ICT のよさを生かし、リスクを抑えながら、インターネットと上手に付き合っていく力をつける必要があります。初めのうちは、大人の手助けが必要です。使い方を見守り、お子さんの使い方に関心を持ってください。アドバイスできなくても大丈夫、話を聴いてやってください。ご協力をお願いします。

このような安全設定になっています

・セキュリティ対策はすでに設定されています。(詳細は、右 QR コードで確認可能)
・夜間はインターネット使用できません。(午後１０時～午前６時)
・フィルタリングソフトにより、有害サイトが閲覧できないように制限されています。

トラブルのときはこうしてください

・破損等、トラブルがあったときには、学校に連絡してください。
（翌日、登校後に連絡してください。）